



強く正しく明るく

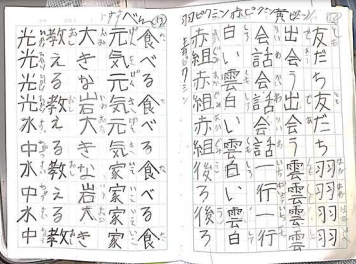
校訓「強く 正しく 明るく」

教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」

目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

自ら学ぶ～自学（すす勉）に取り組む2年生～

写真は2年生の宮崎みなとさんの自学ノートです。筆圧の強い力強い字で丁寧にびっしり漢字の練習をしていました。宿題の他に、自分のスケジュール等に応じて、自分の勉強したいことや学習量を自分で決めて行うこの「自学ノート」。「やらされる」のではなく「自分で決めてやる」ことが大切です。見通しを持つ力や自己調整力を育むのに役立ちます。そして、やはり「継続は力なり」ですね。



おいしくなれ！3年生梅干しづくり

総合的な学習の時間に地域のことを学んでいる3年生。今回は地域の北井さんと江藤さんに梅干しづくりを教えてくださいました。



今年の夏は、ラニーニャ現象で一段と猛暑になるとの予報が出されています。たっぷりのクエン酸と適度な塩分の梅干しは、健康な体の維持や熱中症予防にも役立つそう。この後、しそ漬けの過程を経ておいしい梅干しができあがるのを楽しみにしている3年生です。

見守りボランティアの皆様

～今年もお世話になります～

雨の日も暑い日も寒い日も、子どもたちの登下校を見守ってくださる見守りボランティアの皆様。今年は14人の皆様にお世話になります。子どもたちには感謝の気持ちを元氣な挨拶で返していくこと、指導していただいたことは素直に受け止めることなどを確認しています。



食で自立を考える「おにぎりマイスターデー」

【取組のねらい】

- 自分で簡易食を作る。(自立の第1歩)
- おにぎりづくりを通して親子の関わりをもつ(感謝の心)
- 日本の食文化のよさを見つめる(食の伝統文化)



- 食べられる量の見通しをもつ(SDGs)
- 食生活を見直し自分の健康を守る(健康の保持)

写真は1年生の様子です。各教室で尋ねたところ、9割以上の子どもたちが自分一人で、あるいは教えてもらいながら作ってきたと答えました。

「三角形は難しかったので、丸にしました」「おにぎりの型を使って星形おにぎりを作りました」「何個も作るの大変なので特大おにぎりにしました」という声。それぞれに工夫を凝らした様子が伝わりました。「たくさん作って食べ過ぎちゃった」との声も。「おにぎりにするとペロリと食べてしまうから不思議」とつぶやいた子もいました。自分で作ったおにぎりはまた格別のような様子でした。

日本の伝統食「おにぎり」。最近海外の方にも人気だそうです。手軽に作れることや具材でバリエーションを楽しめ、持ち運びも簡単なことが魅力で、海外でもおにぎり専門店が出始めました。自分で食べられる量を調整することも勉強の一つですね。給食委員会の「おにぎりクイズ」を聞きながら、楽しくおにぎりを頬張っていました。

避難訓練【地震(火災)対策】を実施しました

5月31日早朝4時46分頃、熊本・鹿児島地方で震度4の地震がありました。熊本に被害を及ぼす断層帯は布田川断層帯と日奈久断層帯が上げられていますが、科学が進展した現在でも発災日を予想することはできません。だからこそ、常日頃から備えておきたいものです。



学校では①放送をよく聞くこと、②逃げ道を確保するため整理整頓しておくこと、③キーワード「お・か・し・も」(おさない、かけない、しゃべらない、戻らない)④教室・体育館図書室など場所に応じた対応の仕方等について視覚教材で確認しました。ご家庭でも日頃から非常持出袋の準備や、はぐれてしまったときの集合場所などの確認をお願いします。



竹熊さんから甘～いスイカをいただきました

保護者の竹熊さんから大変甘いスイカをいただきました。やはた学童とやはた保育園にもお裾分けしたところ、とても喜ばれました。

